I^B CARE

取扱説明書

CUSTOMER
DESIGN AREA

安全で正しい製品の使用のために、必ず使用説明書をお読みになった上でご使用ください。

製品の特徴

HMDタイプで、脳波誘導発生システムと光学レンズを採用することで使用効果を高めました。
また、軽いので着用しやすく携帯が便利で、デザインの優れた製品です。

視力保護のための多様なプログラム(自動及び手動)

眼球の周囲の穴点を指圧と刺戟することで、血液の循環を改善・促進させ、視力を保護します。

眼球の回転運動は眼球の筋肉を強化し、疲労回復に効果があります。

紅彩と水晶體の調節運動は、低下された視力保護と脳機能の活性化のための大脳刺激が出来ます。

協応力向上機能は、視力の低下を防止する効果があり、目と頭脳、手の連動作用を誘導するゲームを通して、頭脳の機能を向上させます。

眼球シャワー機能は、網膜と大脳を刺激し、疲労回復と脳機能の活性化を誘導します。

視聴覚の刺激を通じた頭脳機能の活性化プログラム

視聴覚を刺激することによってアルファ波の生成を誘導し、頭脳の機能を活性化させます。また、学習能力や集中力の向上、業務能力を向上させます。

視聴覚の刺激を通じた熟睡誘導プログラム

視聴覚を刺激することによってセータ波とデルタ波の生成を促進させ、ストレスの解消と熟睡のための安定を誘導します。

付加機能

本体に骨伝導スピーカーを採用し,脳波の誘導の発生を極大化しました(選択仕様としての別売品です)。

Micro SDカードを利用して、ユーザーが聞きたいMP3音楽をダウンロードして聞くことができます。

参考　本製品には自己診断機能が内蔵されています。(問題解決ページ参照)

安全のための注意事項

次の注意事項を遵守して安全事故を予防してください。
注意事項を守らないことによって発生した事故に対し当社では人的、物理的、精神的な責任を負いません。

⚠ 注意

本製品は、視力と頭脳の機能を向上させるための補助運動機器であり、医療機器ではありません

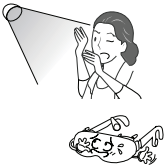
本製品は室内、車両停車中など、妨害物のない安定した場所でのみご使用ください

本製品を着用している間は、隣にいる人と悪戯をせず、また歩行を控えてください

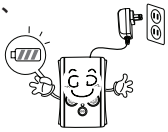
本製品を着用している間は、他の業務を同時に行わないでください

風邪、高熱、身体的にひどい苦痛のあるユーザーはご使用を控えてください

光過敏症のあるユーザーは、必ず販売員とご相談の上でご使用ください



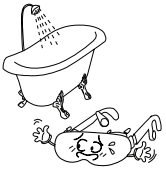
ユーザーの安全のために、コントローラーを完全に充電した上でご使用ください



本製品を熟睡誘導の目的でご使用になる場合でも、身体及び製品の損傷を防止するために、本体を外した上でお休みください

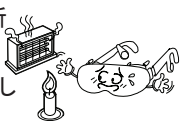
本製品の使用中に目に痛みを感じたり、異常を感じた場合は、直ちにご使用を中断し、安静を保ってください

浴室やお風呂などの湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください

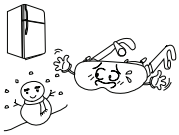


⚠注意

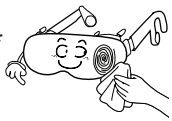
本製品は温度の高い場所（車両内部、暖房器具の横、サウナなど）で使用しないでください。



本製品を温度の低い場所（冬期の家の外、冷蔵庫の中など）で保管しないでください。

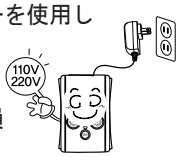


本製品のレンズに異物や指紋などがついた場合、付属のレンズ拭きで拭き取ってください。

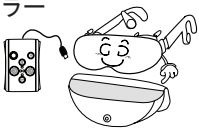


本製品を掃除する場合、ベンジンやシンナーなどの化学薬品を絶対に使用せず、付属のレンズ拭きで軽く拭いてください。

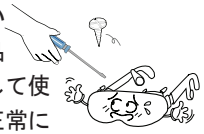
コントローラーの充電は、必ず指定された電気規格のアダプターを使用しなければなりません。非規格のアダプターを使用する場合、製品が損傷することがあります。



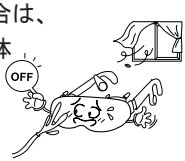
本製品を長期間、使用しない場合は、本体とコントローラーを分離し、本体をケースに入れて、異物やほこりが入らないように保管してください。



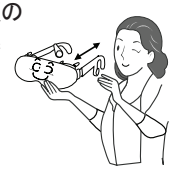
本製品を故意に分解したり、改造または修理しないでください ユーザーが故意に製品を分解したり、改造して使用した場合、製品が正常に作動しないことがあり、その場合はサービスを受けることができません。



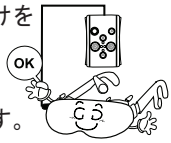
本製品が水に濡れた場合は、直ちに電源を切り、本体とコントローラーを連結しているケーブルを分離し、風通しのよい場所で完全に乾燥させてからご使用ください。



本製品は、ユーザーの顔のサイズに合わせて指圧棒とテンプルの長さを調節してご使用ください。



本体とコントローラーを連結するケーブルは、付属のケーブルだけをご使用ください。他のケーブルを使用した場合、作動しないことがあります。



本製品の使用中に異常または故障が発生した場合は、販売店や代理店または当社のサービスセンターにお問い合わせください。

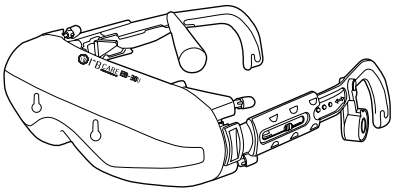
本製品の1回の使用時間と1日の使用最適時間は、各機能別に異なります。必ず本取扱説明書に明記された使用回数及び時間を遵守してください。

目次

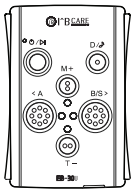
- 製品の特徴 …… 2
- 製品の構成 …… 6
- 各部の名称 …… 7
  - 本体(EB-70U)外側 …… 7
  - 本体(EB-70U)内側 …… 8
  - コントローラー部(EB-30U) …… 9~11
- 使用する前に …… 12
  - 本体とコントローラーを連結 …… 12
  - コントローラーの充電方法 …… 13
  - 製品の着用方法 …… 14
- 製品の使用法 …… 15
  - A(Auto)モードを使用する - 視力保護自動プログラム …… 15~17
  - M(Message)モードを使用する - 眼球指圧専用 …… 18
  - T(Tracking)モードを使用する - 眼球回転運動専用 …… 19
  - B(Brain Care)モードを使用する - 脳機能活性化プログラム …… 20~21
  - S(Sleep well)モードを使用する - 熟睡誘導プログラム …… 22~23
  - D(Display score)モードを使用する - 得点表示 …… 23
  - MP3モードを使用する …… 24
- 製品の規格 …… 25
  - 本体(EB-70BU) …… 25
  - コントローラー(EB-30B) …… 25
- 問題解決 …… 26
- 付録 …… 27
  - 眼球の周囲の主な経穴点 …… 27
  - 脳波同調理論(Frequence-following effect) …… 28
  - バイノラルビート音(Binaural beat sound) …… 28
  - 脳波の種類 …… 29
- メモ …… 30
- 製品保証書 …… 31

製品の構成

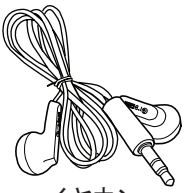
構成品



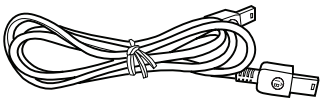
本体(EB-70U)



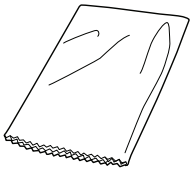
コントローラー(EB-30U)



イヤホン
*性能改善のためイヤホンのデザインが予告なしに変更される場合があります.

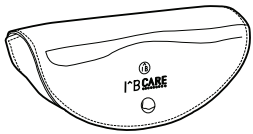


専用データケーブル
(本体とコントローラー連結用)

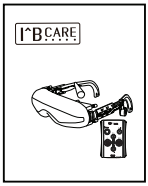


レンズ拭き

SDカードアダプター

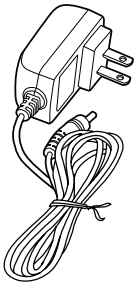


本体及びコントローラー保管用ケース



使用説明書

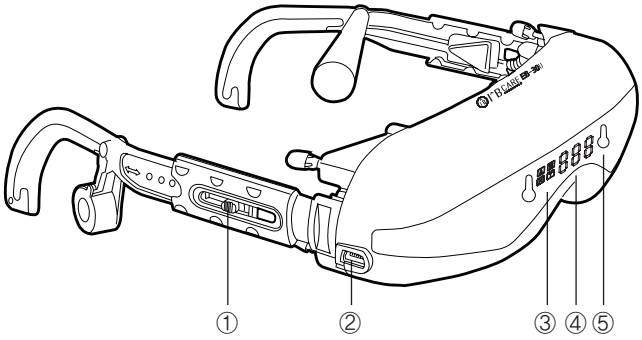
電源アダプター(別売品)



注意 コントローラーは付属のアダプターまたは指定された電気規格のアダプターを使用しなければなりません。非規格のアダプターを使用する場合、製品が損傷することがあります。

各部の名称

本体(EB-70U)外側



1 **テンプルの長さ調節部**
ユーザーの顔と頭のサイズに合わせて5段階に調節できます。

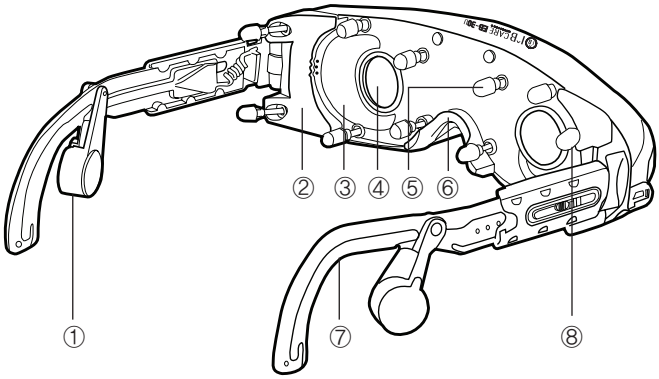
2 **データケーブル入力部(コントローラーと連結)**
製品のロゴが下を向くように連結します。

3 **モード表示部**
4つのプログラムモードを表示します。

4 **得点表示部**
Tモードでの得点の表示とMP3の再生番号を表示します。誤作動が発生した場合は、自己診断機能が表示されます。

5 **レンズ保護ウィンドウ**
光学レンズを保護するウィンドウです。(スクラッチや異物が生じないように管理してください)

本体(EB-70U)内側



1 **骨伝導スピーカー部**
脳波の同調を促進させる機能性音楽が出ます。(別売品)

2 **顔面保護部**
ユーザーの顔を保護します。

3 **眼球回転光表示窓**
眼球の回転のための光を表示窓です。

4 **対物レンズ部**
光学レンズによって 1.5 倍の遠さまで見えます。(清潔を維持します)

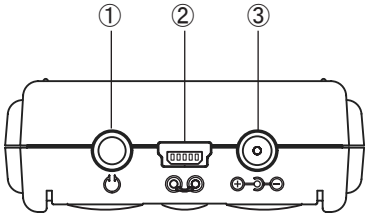
5 **上下部穴点指圧棒(上下各4か所)**
眼球上下部の穴点指圧棒です。(時計と反対回りに90度回転させると、棒が長くなります)

6 **鼻保護部**
ユーザーの本体着用を支持し、鼻の部分を保護します

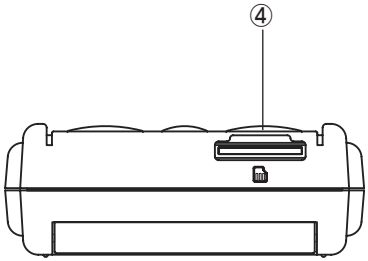
7 **耳保護部**
ユーザーの耳の部分を保護します。

8 **外側穴点指圧棒(左右各2か所)**
眼球の外側の穴点指圧棒です。(角度を4方向に調節できます)

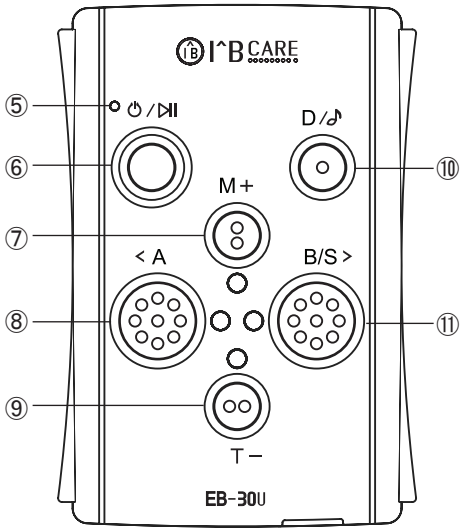
コントローラー部(EB-30U)



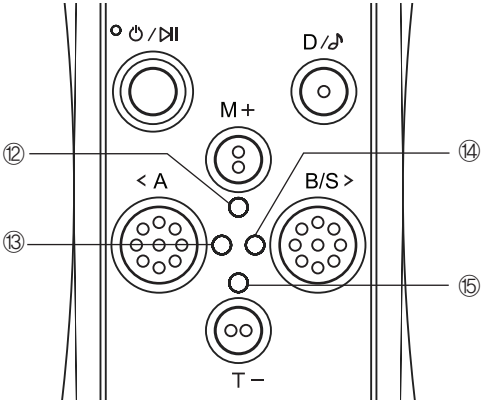
コントローラー上部



コントローラー下部



コントローラー前面



コントローラー表示部

1 **イヤホン出力ジャック(⏻)**
イヤホンを接続するところです。

2 **データケーブル出力部(本体向)(⚯)**
本体とコントローラーを連結するためのデータケーブル連結部です。

3 **充電用アダプター入力ジャック(⊕⊖)**
充電のためのアダプターを接続するところです。

4 **Micro SDカード挿入部**
Micro SDカードを挿入するところです。
(指でカードの部分を押せば取り外せます)

5 **リセットホール**
作動中にトラブルが発生した場合に使用します。
(例、作動中にMicro SDカードを故意に取り出した場合など)

6 **電源/一時停止(モード移動)/再スタートボタン(⏻/⏯)**
電源ボタン：2秒以上押して電源をON/OFFします。
一時停止：作動の一時停止や各モードへの移動の際に押します。
再スタート：一時停止状態で押すと、停止した位置から再び作動します。

7 **Mモードボタン/ VOL +(M+)**
眼球の周囲の穴点指圧専用プログラムで、音声が出せます。

8 **Aモード/前(< A)/左得点用ボタン**
視力保護のための自動プログラムモードです。
該当モードの前の段階への移動と左得点ボタンです。

9 **Tモードボタン/VOL -(T-)**
眼球回転運動、紅彩調節運動、協応力向上運動専用プログラムモードで、音を消去できます。

10 **Dモード/ MP3(D/♪)モード**
Tモードで保存された得点が確認できます。
長く押すと、MP3ファイルが再生できます。

11 **Bモード/Sモード/次へ(B/S>)/右得点用ボタン**
脳機能の活性化と熟睡誘導専用プログラムモードです。
該当モードの次の段階への移動と右得点ボタンです。

12 **Mモード表示部**
動作中は緑のランプがつきます。充電中のときはランプが点滅し、
充電が完了すると、つきっぱなしになります。

13 **Aモード表示部**
作動中は、緑のランプがつきます。

14 **Bモード/Sモード/MP3モード表示部**
作動中、Bモードは緑、Sモードはオレンジのランプがつきます。
Mp3モード作動中は、緑とオレンジのランプが交互につきます。

15 **Tモード表示部**
作動中は緑のランプがつきます。

参考

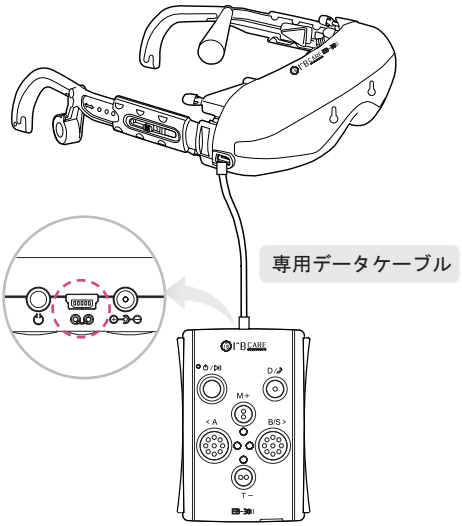
1. 全てのプログラムの作動が完了し、別途の操作をしなければ、1分間、待機状態を維持した後に自動的に電源が切れます。
2. 電源が入っている状態(作動中または作動が完了した待機状態も含む)から他のモードに移動する場合は、必ず一時停止ボタンを押して、該当モードを選択してください。ただし、最初に電源を入れ、望むモードボタンを押せば、直ちに該当モードのプログラムが作動します。
3. 製品の作動中、本体と連結されたデータケーブルを分離すると電源を消してから再度つけなければなりません。
4. データケーブルを本体と連結しずにA.T.Mモードを選ぶ場合、LED表示窓に反時計方向に回転します。この場合、ケーブルを再度連結するとすぐ動作します。

使用する前に

本体をコントローラーに連結します

データケーブルを連結する

データケーブルを使って本体をコントローラーに連結します。
（ケーブルの方向は関係なし）



データケーブルを外す

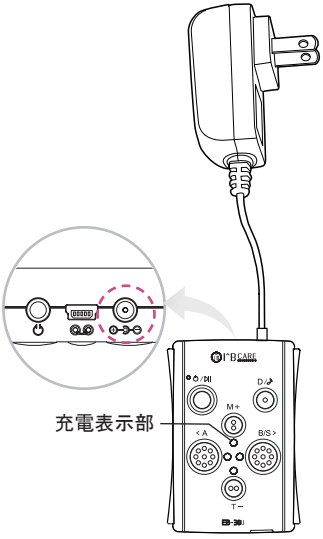
データケーブルのモールド部分をつかんで外します。

注意 データケーブルを外す際、ケーブルを手で引っ張って外そうとすると、ケーブルが損傷することがあります。

コントローラーの充電方法

電源アダプターを接続する

製品を使用する前にコントローラーに電源アダプターを接続し、コントローラーに内蔵された充電用バッテリーを完全に充電してから使用します。
(放電時は再充電して使用)
充電用アダプターの電源プラグの外側は(-)極、内側は(+)極です。(⊖⊃⊕)



注意 コンとローラーは付属のアダプターまたは指定された電気規格のアダプターを使用しなければなりません。非規格のアダプターを使用する場合、製品が損傷することがあります。

充電用アダプターの規格
- 入力：AC 110V/50Hz、
- 出力：DC 5V/0.6A~1.0A

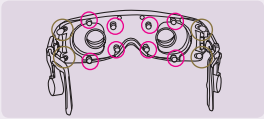
充電表示部

充電中：点滅(ON/OFF反復)
充電完了：常にON
ただし、充電が完了し、アダプターを外すと、表示部は消えます

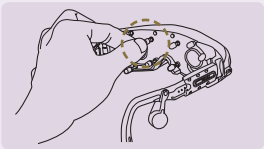
参考 作動中に放電すると、充電表示部のオレンジのランプが5回点滅した後、電源が自動的に切れます。

製品の着用方法

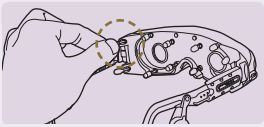
1. 本体を着用する前に、必ずユーザーの顔と頭のサイズに合わせて14か所の指圧棒の長さと位置を調節しなければなりません。(上下部8か所、外側部4か所)



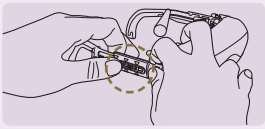
2. 上下部の指圧棒を軽く押して90度、反時計方向で回転させれば、指圧棒の長さを3段階に調節でき、360度回せば、元に戻ります。



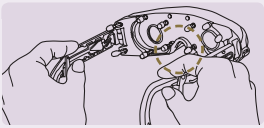
3. 外側の指圧棒を軽く押して90度回せば、上/下/左/右に移動することができ、ユーザーの頭のサイズに合わせることができます。



4. 本体両側のテンプルの長さの調節は、調節部を押してユーザーのサイズに合わせて5段階に調節できます。



5. 両手にて本体の足部を持ち、本体のパッド保護部を鼻筋にそっと乗せて耳の後に正確にフィックスして着用します。



6. 骨伝導スピーカーの最適な位置は、ユーザーのサイズに合わせて前後に調節できます。

参考 着用する前に、必ずテンプルの長さと指圧棒を調節してください。テンプルを大きな角度に広げすぎたり、無理に使用すると、製品が破損したり、ユーザーが負傷することがあります。

製品の使用法

A(Auto)モードを使用する - 視力保護自動プログラム

視力保護のための専用プログラムにて、1回に約7分間、作動します。
一度に1~2回、1日に3~6回以内の使用をお勧めします。

プログラム進行の順序

1段階	2段階	3段階	4段階
1次眼球周囲穴点指圧(1分)	眼球回転及び紅彩と水晶體の調節、協応力運動(3分)	2次眼球周囲穴点指圧(1分)	眼球シャワー(大脳刺激)運動(2分)

使用方法

1. 本体の指圧棒(12個)とテンプルの長さをユーザーのサイズに合わせて調節します。(12ページ参考)
2. 本体とコントローラーをケーブルで連結し、電源ボタンを2秒以上押すと、電源がつきます。
3. コントローラーのAモードボタンを押し、楽な姿勢で座って本体を着用します。
4. 指圧モーターにより1次の眼球周囲穴点指圧が1分間作動し、指圧の強弱は前/次の段階(</>)モードボタンを利用して調節できます。このとき、レンズの内側の青、緑、オレンジのランプがアルファ波周波数で点灯し、イヤホンスピーカーから機能性音楽が出ます。スピーカーの音量は+/-モードボタンを利用して調節します。

5

2段階に本体のシャッターが開くと、物体が見える部分を凝視します。
このときに見える物体は 1.5倍遠くまで見えます。
シャッターが閉まって眼球の回転のための緑とオレンジのランプが不規則に点滅したら、発光する位置を自然に凝視します。
ランプに従って眼球を動かしながら、オレンジのランプがついたら、点滅の方向(左と右)の得点ボタンを押します。左からオレンジのランプがついたら、前の段階(〈)ボタンを押し、右にランプがついたら、次の段階(〉)のボタンを押します。ボタンを0.8秒以内で正確に押すと、規則的な移動の場合2点、不規則的な移動の場合4点を獲得し、合計100点まで表示され、眼球回転の正確度を確認することができます。
ただし、時間を超過したり、緑のランプがついたときに押した場合は得点になりません 。
Aモードの得点は、Aモード完了時までのみ本体の得点表示部に表示され、他のモードに移動するときに消え、保存されません。この段階は4回繰り返され、この過程を通じて眼球の回転、紅彩の調節、協応力運動が自然に行われます。

6

3段階で1段階と同様に2次眼球周囲穴点指圧が行われます。
(4番の項目参照)

7

4段階でレンズの内側にある6つの青、緑、オレンジのランプがアルファ波周波数で点滅して眼球が刺激されます。同時に骨伝道スピーカーを通じて機能性音楽が出ます。このように、視覚と聴覚を同時に刺激すると、アルファ波が発生して精神的に安定した状態になります。
この過程で視力保護とストレス解消、疲労回復の効果が現れます。
このときはランプを自然に凝視してもいいし、目を閉じてもいいです。
(点滅するランプは、目に全く無理のないように発光角度の調節及び間接照明の処理がされているため安全です)

8

Aモードの作動中に他のモードに移動する場合は、電源(モード前、⏻/⏯)ボタンを押し、望むモードボタンを押します。
停止にする場合は一時停止ボタンを押し、もう一度押すと、停止した時点から再びスタートします。
(全てのモードの移動や停止の方法は同様です)

参考 1、3段階の作動時、機能性音楽はイヤホンを通じてのみ聞くことができ、4段階は骨伝導スピーカーとイヤホンを通して同時に聞くことができます。

Aモードの効果

1 視力の低下防止、ストレス解消、疲労回復効果

- 眼球の周囲の血点を指圧と刺戟することにより、硬直して充血した目の血液の循環をよくし、目の疲れをほぐし、視力の低下を防止します。
- シャッターの開閉を通して遠くまで見えるようにし、暗さが繰り返す明暗点滅にて紅彩と水晶體の調節能力を上げ、目の運動の効果を高めて，大脳を刺激します。
- アルファ波周波数と機能性音楽で脳の神経伝達物質であるセラトニンとドパミンの生成を誘導し、ストレス解消や疲労回復などの効果をもたらします。

2 眼球回転運動と協応力向上運動をゲームに組み合わせることで飽きがこない

- 目と手、そして大脳刺激が同時に可能な簡易ゲームプログラムによって頭脳の認知能力と瞬発力を高め、認知症の予防などにも効果があります。
- 簡易ゲームの得点表示と保存を通じて、眼球回転運動の正確度を確認することができます。
- 動く物体を注視する能力を向上させ、動体視力を向上させます。

M(Message)モードを使用する - 眼球指圧専用

眼球の周囲の穴点指圧専用プログラムにて、1回に約5分間、作動します。
ユーザーが手動操作で作動時間を延長できます。
一度に1~2回、1日に3~6回以内の使用をお勧めします。

使用方法

Aモードの使用方法と同様で、眼球の周囲の穴点指圧プログラムが約5分間、継続的に作動します。
指圧時に震動の強弱を前/次(< / >) ボタンで調節できます。

参考 Mモード作動時、機能性音楽はイヤホンを通じてだけ聞くことができます。

T(Tracking)モードを使用する - 眼球回転運動専用

眼球回転、紅彩と水晶體の調節、協応力運動専用プログラムで、約6分間、実行します。
一度に1~2回、1日に3~6回以内の使用をお勧めします。

» プログラムの進行順序

1段階	2段階	3段階	4段階
シャッター開く(3秒)	シャッター閉まる(2秒)	シャッター開く(3秒)	シャッターが開き、ランプ点滅(27秒)

*1~4段階が計8回反復され、ランプの点滅方法は眼球運動の効果を高めるためにそれぞれ違うプログラムがなされています。

» 使用方法

1. Aモードの使用方法と同様で、眼球回転、紅彩と水晶體の調節、協応力運動専用プログラムとして約5分間、継続的に作動します。
2. シャッターのオープンとクローズが2回反復し、緑、オレンジのランプが点滅して、それぞれ違うプログラムで8回反復します。
3. シャッターが閉まると、眼球回転のためのランプが緑とオレンジの色で点滅しますが、ランプのついた部分を自然に凝視します。点滅するランプを追って眼球を回転させているときにオレンジのランプがついたら、点滅する方向(左と右)の得点ボタンを押します。左にオレンジのランプがついたら、前の段階(〈)のボタンを押して、右にオレンジのランプがついたら、次の段階(〉)のボタンを押します。ボタンを0.8秒以内で正確に押すと、規則的な移動の場合1点、不規則的な移動の場合2点を獲得し、合計100点まで表示され、眼球回転の正確度を確認することができます。
   Tモードの得点は、最近10回までの得点が保存され、Dモード(D/♪)ボタンを押して(前〈)得点ボタンを押すと、保存された得点が順序通りに表示されます。

参考 眼球回転運動を初めて行う方は、普段あまり使わない眼球の筋肉を使うので、目に張りを感じることがあります。2週間程度、継続すれば慣れるでしょう。

B(Brain Care)モードを使用する - 脳機能活性化プログラム

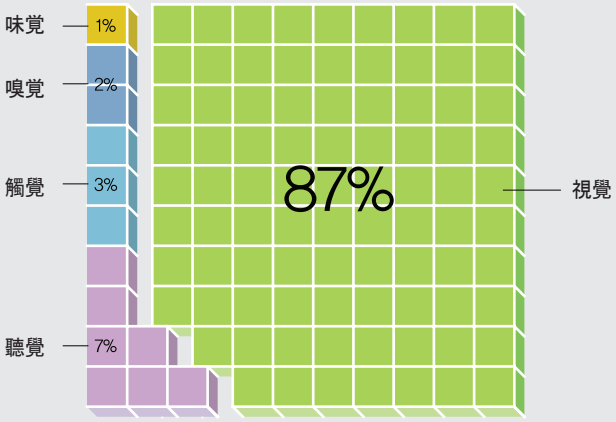
脳機能の活性化のためのプログラムにて、視覚刺激周波数と聴覚刺激機能性音楽が同時に頭脳を刺激し、1回に約10分間、作動します。
一度に1~2回、1日に3~6回以内の使用をお勧めします。

使用方法

1. 本体のテンプルの長さはAモードより1~2段階程度ゆるく調節します。
2. 上下部の指圧棒はそのままにし、外側部の4か所の位置だけ外側に移動させ、顔に合わせて調節します。
3. 本体とコントローラーをケーブルで連結し、電源ボタンを2秒以上押して電源を入れます。
4. コントローラーのBモードボタンを押し、楽な姿勢で座って本体を着用します。
5. 本体のレンズの内側にある6つの青、緑、オレンジのランプがアルファ波周波数で点滅します。ユーザーは前/次(</>)モードボタンを利用して違う色の周波数を選択できます。このとき、骨伝導スピーカーから機能性音楽が流れます。
6. Bモード作動中に他のモードに移動する場合は、電源(モード前)ボタンを押して望むモードボタンを押します。停止にする場合は電源(一時停止⏻/⏯)ボタンを押し、もう一度押すと、停止した時点から再びスタートします。
7. Bモードで聴覚の刺激だけのためにコントローラーとイヤホンだけを使用するときは、必ず電源を切って本体と連結した専用ケーブルを外さなければなりません。もし、電源を切らないまま本体と連結したケーブルを外すと、誤作動が発生することがあります。このような場合は、一度電源をOFFにしてから再び電源を入れなければなりません。

» Bモードの効果

- 視覚と聴覚の刺激を利用、脳波同調理論に基づいてアルファ波を誘導し、緊張をほぐし、ストレスを解消します。
- 集中力を高め、学習効果や業務能率を高めます。
- 眠いときや疲れたときにアルファ波を誘導して意欲を高めます。



［ 五感と 情報 傳達 效率 ］

S(Sleep well)モードを使用する - 熟睡誘導プログラム

視聴覚を刺激することによって熟睡を誘導するプログラムで、約20分間作動します。
熟睡が必要な場合に1~2回、実行します。

使用方法

1. 本体のテンプルの長さはAモードより1~2段階程度ゆるく調節します。
2. 上下部の指圧棒はそのままにし、外側部の4か所の位置だけ外側に移動させ、顔に合わせて調節します。
3. 本体とコントローラーをケーブルで連結し、電源ボタンを2秒以上押して電源を入れます。
4. コントローラーのSモード(2秒以上)ボタンを押し、寝室やベッドの上などで楽な姿勢で本体を着用します。
5. 本体のレンズの内側にある6つの青、緑、オレンジのランプが セータ波とデルタ波 波周波で点滅します。
   ユーザーは前/次(</>)モードボタンを利用して違う色の周波数を選択できます。このとき、骨伝導スピーカーから機能性音楽が流れます。
6. Sモードが完了する前に眠気がきたら、電源を切って、必ず本体を外してからお休みください。
7. Sモードの作動中に他のモードに移動する場合は、電源(⏻/⏯)ボタンを押して、望むモードボタンを押します。停止するときは、電源(⏻/⏯)ボタンを押し、もう一度押すと、停止した時点から再びスタートします。
8. Bモードで聴覚の刺激だけのためにコントローラーとイヤホンだけを使用するときは、必ず電源を切って本体と連結した専用ケーブルを外さなければなりません。もし、電源を切らないまま本体と連結したケーブルを外すと、誤作動が発生することがあります。このような場合は、一度電源をOFFにしてから再び電源を入れなければなりません。

注意 身体への障害及び製品の損傷防止のために、必ず本体を外してお休みください。

Sモードの効果

視覚と聴覚の刺激を利用、脳波同調理論に基づいてセータ波とデルタ波を誘導し、緊張をほぐします。また、ストレス解消とともに心を穏やかにし、心身を安定させ、熟睡を誘導します 。

D(Display score)モードを使用する - 得点表示

Tモードで指定された得点を表示するモードで、最近10回保存された得点を表示します。
家族や仲間といっしょに楽しむゲームとしても活用できます。

使用方法

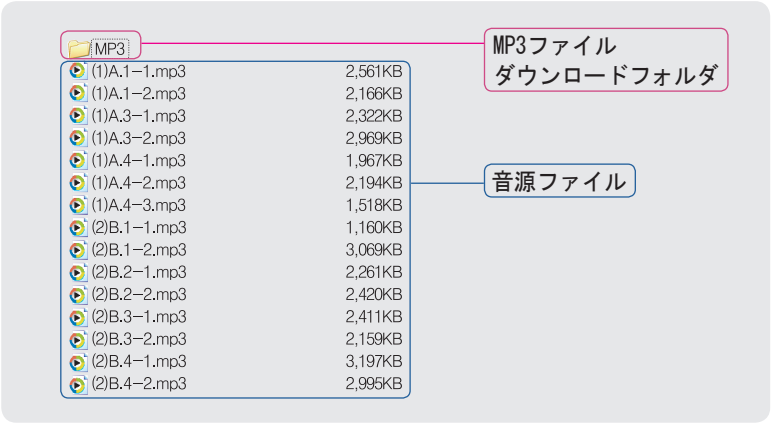
1. Tモードを終了してからモードボタンを押した後、Dモード(D/♪)ボタンを押します。
2. 前のモード(<)ボタンを押すと、いちばん最近に保存された得点が順序に表示され、次のモード(次 >)ボタンを押すと、逆から10番目の順序で点数がディスプレー部に表示されます。
3. 別途の操作をしなければ、1分後に点数の表示は消えます。

MP3モードを使用する

ユーザーがMicro SDカードにダウンロードしたMP3音楽をイヤホンを通じて聞くことのできるモードです。付属のMicro SDカードアダプターを利用してダウンロードできます。

使用方法

1. 本体の電源を入れ、MP3ボタン(D/♪)を2秒以上押します。
2. Micro SDカードのMP3フォルダにあるMP3ファイルの再生は特殊、数字、ハングル、英文の順序で昇冪のタイトル順に再生されます。
   本体得点表示部には現在、再生中のファイルの番号が表示されます。
3. 再生中に前/次(</>)ボタンを利用して再生するMP3ファイルを選択することができ、ボリュームは+/- ボタンを利用して調節します。
   Mp3モードが作動中のときは、B/Sモードの表示ウィンドウに緑/-オレンジのランプが交互に点滅します。
4. MP3ファイルの再生は、コントローラーにイヤホンを接続して聞くことをお勧めします。骨伝導スピーカーを利用する場合、バイノラルビート機能性音楽を中心に調整されているため、一部周波数帯域の音が聞こえないことがあります。



注意 Micro SDカードにある音源ファイルは絶対に削除、修正、複写などをしないでください。機器が誤作動を起こすことがあります。

製品の規格

本体(EB-70BU)

区分		規格
電気的特性	電源入力	3.3V/600mA
	電力消耗	150mA以下
オーディオ	音声入力	コントローラーと本体の専用ケーブルを通じて入力
	音響出力	骨伝導スピーカー(L, R)
	骨伝導スピーカー出力	30~70mA(L, R)
	信号に対する雑音比	95dB以上
一般	光学レンズ	凸/凹レンズ
	製品のサイズ	144(W)X 63(D) X 53(H)mm
	作動温度	0 ~ 50度
	作動湿度	0 ~ 80%
	製品の重量	80g(データケーブルを除く)
	材質	PC/ABS及びシリコンゴム

コントローラー(EB-30B)

区分		規格
電気的特性	電源入力	DC 3.3~4.2V/600mA
	充電方法	DC 5V/0.6~1.0A充電アダプター使用
	充電時間	約2時間
	充電後の作動時間	連続3時間以上
	電力消耗	50mA以下
一般	オーディオ出力周波数	20 ~ 20kHz
	音響入力	Micro SDカード
	メモリー容量	512MB
	製品のサイズ	47(W)X 69(D) X 19.5(H)mm
	作動温度	0 ~ 50度
	作動湿度	0 ~ 80%
	製品の重量	40g
	材質	PC/ABS

問題解決

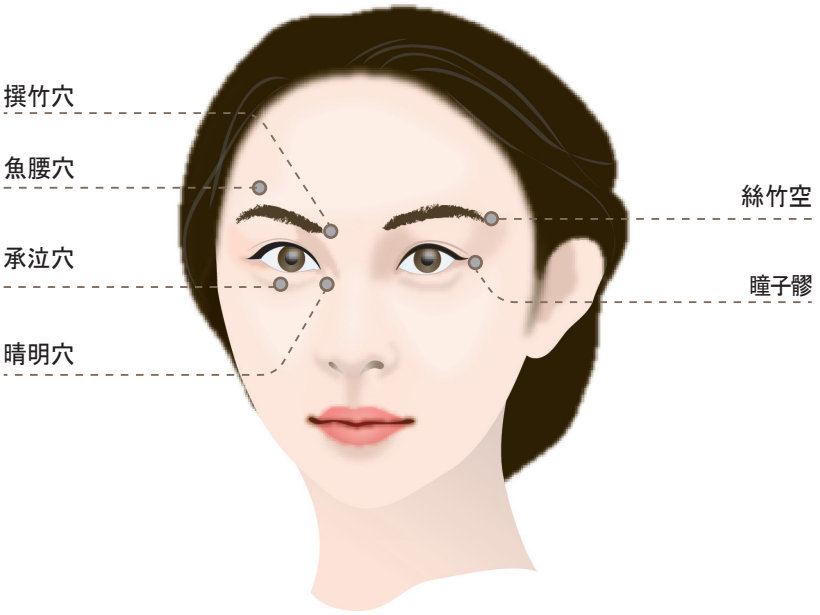
症状	原因	措置
本体とコントローラーに電源が入りません。	コントローラーの充電池が放電している場合	コントローラーに充電アダプターを連結し、充電池を充電してからご使用ください。
	電源をつけていない場合	電源ボタンを2秒以上押して電源を入れてください。
本体が作動しません。	コントローラーの充電器が放電している場合	コントローラーに充電アダプターを連結し、充電池を充電してからご使用ください。
	本体とコントローラーがデータケーブルで連結されていない場合	本体とコントローラーをデータケーブルで連結してからご使用ください。
	Micro SDカードが連結されていません	Micro SDカードを挿入します。
本体から音が出ません。	コントローラーの充電池が放電している場合	コントローラーに充電アダプターを連結し、充電池を充電してからご使用ください。
	本体とコントローラーがデータケーブルで連結されていない場合	本体とコントローラーをデータケーブルで連結してからご使用ください。
コントローラーのボタンが作動しません。	コントローラーの充電池が放電している場合	コントローラーに充電アダプターを連結し、充電してからご使用ください。
	本体とコントローラーがデータケーブルで連結されていない場合	本体とコントローラーをデータケーブルで連結してからご使用ください。
	Micro SDカードが連結されていません	Micro SDカードを挿入します。

- 本製品には自己診断表示機能が内蔵されています。本体のスコア表示に下記のように表示された場合の措置方法です。
- E01 : Micro SDカードが連結されていません(カードを挿入してリセットしてください。)
- E02 : 音源ファイルの位置にユーザーが別のファイルをダウンロードしました(直ちに削除してリセットしてください。)
- E03 : 作動中にMicro SDカードを外しました(カードを挿入してリセットしてください。)

参考　リセットをした後、三秒以上待ってから再度電源をつけて下さい。

付録

眼球の周囲の主な経穴点



名称	説明
魚腰穴	目の周囲の筋肉や顔面部の神経麻痺を抑え、まぶたの垂れを抑える
撰竹穴	頭痛や目の疲れを回復させる(視神経の萎縮、顔面神経麻痺の解消)
承泣穴	視力をよくし、近視を予防し、かゆみを緩和させる
晴明穴	目をすっきりさせ、顔の経絡と涙腺の循環を円滑にし、大脳に有益である
絲竹空	顔のしわを伸ばし、目の周りと顔の利用によい
瞳子髎	頭と目をすっきりさせ、神経を安定させる

脳波同調理論(Frequence-following effect)

1940年代、英国のグレイ・ウォルター博士が光と音の信号を通じて人の脳波をアルファ波とセータ波に誘導できるという脳波同調理論を発表しました。一定の光と音の周波数に人の脳波が同調するという理論で、その信号に従って脳波が共鳴(2つのグラスを置いて一つを揺らすと、隣にあるグラスからも音が出るという原理)するというものです。実際に、多くの実験によって人の脳波が同調するという臨床実験のデータが先進国はもちろん、韓国でも多く発表されています。

バイノラルビート音(Binaural beat sound)

アルファ波やセータ波を誘導するためには、低周波の音を生成しなければなりませんが、人の耳はこのような低周波を聞き取ることができないため、2つの信号音を組み合わせて第3の音を作るもので、この第3の音をバイノラルビート音といいます。
つまり、2つのスピーカーを利用して一つのスピーカーには200Hzの音を送り、もう一つのスピーカーには210Hzの音を送ると、人の頭脳はその差である10Hzの音を聞き取るというものです。
バイノラルビート音は、ドイツの実験家であるドーブが1839年に発見しました。
ドーブの発見でアルファ波、セータ波、デルタ波の誘導が可能になり、特定の脳波を誘導して左・右脳の統合を促進させるため、効果的な学習を可能にします。

参考 本製品に内蔵されている機能性音楽は、使用効果を極大化するために、予告なしで変更することがあります。
また、イヤホンや骨伝導スピーカーを通じて聞こえる「ウンウン」という音(バイノラルビート音)は、ユーザーの使用効果を高めるための聴覚刺激用機能性音源の音であって故障ではなく,特に骨伝導スピーカーは、バイノラルビート音を中心に聴覚を刺激します。

脳波の種類

身体の活動によって人の頭脳から電気的信号が発生しますが、この信号を脳波といいます。脳波はドイツの精神科医であるハンス・ベルガーが発見しました。脳波の研究は現在、重要な医学分野の一つで、特に精神医学では重要な生体信号として研究が行なわれています。

» 脳波の種類と特徴は次の通りです。(重要な周波数はカラーで別途に表示)

名称	周波数	特徴
デルタ波	0.5 ~ 3Hz	熟睡状態または新たな精神的、肉体的充電を行っている状態です。
セータ波	4 ~ 7Hz	寝る直前や超能力を発揮するとき、篇桃状部とその周辺から発生します。この脳波は注意力、興味、探究心、記憶力、集中力と関係があります。
アルファ波	7 ~ 12Hz	人の頭脳が最もいい状態で、アルファ波は大脳の皮質から発生します。ストレスを解消し、集中力を強化し、学習能力を向上させ、記憶力を増進させる最高の瞑想状態です。
SMR波	12 ~ 15Hz	若干の緊張状態です。
ベータ波	16 ~ 35Hz	緊張、肉体的活動状態、興奮状態、ストレス状態です
ガンマ波	35Hz 以上	不安、極度のストレス、興奮状態で、脳波の安定が必要な状態です。

メモ

製品保証書

- 当社では下記の通り、製品に対する保証を実施します。
- 製品が故障した場合は、代理店や販売店に連絡して修理を依頼してください。

下記の通り保証します。

1. 本製品は、厳密な品質管理及び検査過程を経て製造された製品です。
2. 製品の保証期間は、購入から1年間です。
3. 製品の保証期間内に修理を依頼する場合は、必ず保証書をご提示ください。

製品名		モデル名	
購入日	年　月　日	購入先	
製造元		販売先	

サービスの内訳

類型	措置
・購入から30日以内に正常な使用状態で発生した性能、機能上の欠陥で、重大な修理を要する場合	交換または払戻
・保証期間以内で、修理が不可能な場合	交換
・異なった電気容量を使用することによって発生した故障 ・製品の設置、移動時の落下などによる損傷消費者の過失による故障	有償サービス
・自然災害による故障が発生した場合	有償サービス
・製品に異物などが入り込んで故障が発生した場合	有償サービス

この保証書は再発行いたしませんので、しっかり保管してください。

I^B CARE

このような方にお勧めの製品、I・B・CARE!

1. 急激に視力が低下した学生、社会人、中壮年層
2. メガネやコンタクトレンズを着用している方
3. コンピュータ、TVを視聴すると、目に疲労を感じる方
4. 業務上、目を使うことが多く、ストレスの多い社会人
5. 両目の視力が異なったり、斜視症状のある方
6. 脳機能の向上と脳の刺激が必要な中年以上の方
7. 熟睡できない学生、社会人、主婦、中年以上の方
8. 学業成績が上がらず、集中力に欠ける学生、社会人
9. 自律神経系の慢性的な症状のある方
10. 鬱病、慢性疲労、成績不振、狭心症のある方